

令和3年度 いじめに関するアンケートの 結果と対応について

今年度の「いじめに関するアンケート」については、いじめの早期発見を目的として、全校児童生徒と保護者の皆様に協力をいただいで実施しました。

令和3年度の「いじめに関するアンケート」は、児童生徒3回、保護者の皆様には2回実施いたしました。今年度より、小・中学部の児童・生徒及び保護者の皆様もアンケートの対象としての実施となり、これまで以上に、全校児童・生徒、職員、保護者の皆様が「いじめ」について考える機会となったかと思えます。

児童・生徒の実施の結果については、「馬鹿にされているように感じる」、「無視されているように感じる」や「変な呼び方をされたりする」といった項目に対して「○」がついていることがありました。担任等で丁寧な聞き取りを行うなどすぐに対応し、全体に対して「相手を思いやる言葉遣い」等の指導を行うなど適切に対応したところ、その後そういった様子も見られなくなり「○」をつけた児童・生徒も安心して学校生活を送っている様子が見られました。

保護者の皆様からのアンケート結果については、ほぼ全員に近い方々より回答をいただくことができ、「いじめを受けている」、「いじめをしている」の回答はありませんでした。しかし、「わからない」という項目への回答があったり、「もしかしたら、自分の子どもがいじめているという意識のないままいじめているかも…」などのご意見をいただいたりしました。個別面談の際に、改めて詳しいお話をいただき、担任より学校生活での様子と「いじめ」の様子は見られないことを伝えさせていただき、安心していただくことができました。

今後もいじめに関するアンケートについて、児童・生徒そして保護者の皆様の協力を得ながら実施していきたいと思えます。保護者の皆様と共に子どもたちの悩みや不安を早期に発見し、問題に発展しそうな行動を未然に防止し、一緒に将来に向けての支援をしていきましょう。



1年間 ご協力ありがとうございました